

2019（令和元）年度活動報告

1. 2019年度の社会情勢

2019年は平成から令和へと年号が変わり、新しい時代の幕開けとなりましたが、8月の九州北部豪雨、9月の台風15号、10月の消費税10%開始、沖縄県首里城の火災など暗いニュースが相次ぎました。

その中で、当協会では5月に全九州ろうあ者スポーツ大会を主管開催し、11月17日には県協会創立70周年記念式典・祝賀会を宮崎観光ホテルで盛大に開催しました。70年に亘る長い歴史を支えてこられた先人の方々はもちろん、若い方々にも大きな協力をいただいて、2大行事を無事に開催することができたことは、今後の県協会活動につながる明るいニュースでした。

ところが、その直後、12月ごろから中国武漢で発生した新型コロナウイルスの感染があっという間に世界中に広がりました。世界中の人々が世界の国々を当たり前のように訪れ、仕事をし、交流を行うグローバル化が大きく広がっていることを示す皮肉な結果でもありました。現在、世界中の国々が新型コロナウイルス感染症の終息に向けて外出制限・自粛や企業活動の制限・自粛を行っていますが、その一方で、医療に関わる方々や生活インフラを支える方々の負担が大きく、心無い差別も起きています。私たち聴覚障害者も、正しい情報を理解し、手洗い、マスクなどの対策を行って終息のための行動に取り組んでいく必要があります。そのための情報保障が十分に行われるよう、行政や関係団体に働きかけていかなければなりません。

新型コロナウイルス感染症はろう運動にも大きな影響を及ぼし、全日本ろうあ連盟は2020年度の全ての事業の中止を発表しました。九聴連でも大半の事業が中止となり、宮崎県協会、各地区協会でも中止・延期となった事業が相次いでいます。70年に亘る運動の歴史の中で誰もが経験したことの無い事態です。

ただ、健康が最優先であることは言うまでもありませんが、自粛に囚われすぎて活動の元気が失われることがあってはなりません。全日本ろうあ連盟は、新型コロナウイルス感染症に対して①医療支援②教育支援③生活支援④法律支援⑤地域支援の5つのチームを立ち上げました。県協会でも、宮崎県に対して情報保障に関する要望書を提出したほか、機関紙などを活用した様々な情報提供、支援に向けて取り組んでいるところです。

このような社会情勢、運動の目的や状況を確認したうえで、活動に取り組んでいくことが大切です。

2. 全国的な運動

（1）新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルスへの感染者は4月21日現在で1万1千人を超えています。4月17日には全国47都道府県に緊急事態宣言が出され、5月6日までの外出自粛などが要請されました。中でも特に感染者の多いところや、感染者が急増している所で

は、事業者、特に飲食業に関わる方々はお客が大きく減ったことで収入がなくなって、家賃や様々な経費、社員への給料が払えないといった問題が深刻化しています。労働者からも仕事がなくなったため生活できないといった声が非常に多くなっています。また、家庭や教育、生活など日常のあらゆる場面でも大きな影響がでています。

全日本ろうあ連盟は、2020年度の全ての事業を中止しましたが、その代わりとしてこの新型コロナウイルス感染症への対策チームを立ち上げ、活動を開始しています。聴覚障害者への情報アクセス・コミュニケーション環境保障だけではなく、手話・要約筆記通訳業務に付く方々への対応、支援も重要です。県協会でも、全日本ろうあ連盟と連携協力して聴覚障害者、手話要約筆記関係者などの皆さんへの支援に取り組んでいきます。

(2)「手話言語条例」制定に向けての動き

4月17日現在、全国では28道府県12区249市51町1村、計341自治体で条例が制定されています。ただ、現在はどこの自治体も新型コロナウイルス感染症への対応に追われてそれどころではないというのが実情でしょう。

しかし、条例制定自治体においては、逆に条例に基づいて会見などの様々な場面で情報保障がなされるよう働きかけていく機会でもあります。聴覚障害者も含めた国民一人一人が正しく情報を理解して感染予防に取り組むことが大切であることを粘り強く訴えていく必要があります。

3. 県内の主な出来事

(1) 宮崎県内の新型コロナウイルス感染症に対する情報保障について

5月14日現在、宮崎県では17名の感染者が確認されています。全国と比較するとかなり少ない数字ですが、当初は感染者が少なかった県に観光客・帰省者が集まったことで数が増えた事例もあり、今後も大丈夫とは安心できない状況です。

そういった状況の中で聴覚障害者が感染者とならないために重要なのは、県知事会見をはじめとした情報を聞こえる人と同様に正しく知ることです。

県協会では、4月初めに県に対して県知事会見に手話通訳を付けることをはじめとした情報保障について要望を行いました。県知事会見に手話や字幕を付けること、県政情報を分かりやすく伝えるための手話動画作成への協力依頼、感染についてだけではなく、職業や生活など幅広い相談先を電話だけではなくファックス、メールで対応すること、そして通訳者を感染から守るための方法としての遠隔手話サービスについて要望し、5月4日には県知事会見に手話通訳が導入されました。現在は遠隔手話サービス等についても協議を進めているところです。

その他にも、例えば延岡市、宮崎市では市長会見に手話通訳が付いていますが、協会事務所のない市町村で感染者が出た場合はどうするのか。ろう者や難聴者が万が一感染した場合、どのように情報保障を行うのか。聴覚障害者が情報保障を受ける権利と、通訳者の健康を守る権利をどのように両立させるのかなど、検討しなければならないことが多くありますので、一つ一つ整理して県や市町村と協議を行っていく方針です。

(2) 宮崎県手話言語条例に関わる取り組みについて

2019年4月から施行された宮崎県手話言語条例に基づいて、宮崎県では手話言語条例啓発パンフレットの作成・配布が行われたほか、役員が氏名を手話で表現する取り組みなどが行われています。また、令和2年度の新規採用職員研修の中で手話に対する研修を行う予定でしたが、この研修は新型コロナウイルス感染症の拡大で延期となりました。

県知事会見には手話通訳が導入されましたが、引き続き、県政情報への情報保障と合わせて、条例啓発や、条例に基づいた取り組みが継続して行われるよう働きかけていきます。

4. 県協会の取組み

(1) 第56回全九州ろうあ者スポーツ大会を宮崎市で開催

5月18日～19日の2日間にわたって、宮崎市で第56回全九州ろうあ者スポーツ大会を開催し、九州各県から選手が281名参加されました。残念ながら2日間とも雨となりましたが、中止となったソフトボール競技を除いて、各競技で熱戦が繰り広げられました。宮崎県選手団はソフトバレーボール競技で準優勝、3位に入賞したのをはじめ、出場した全ての正式競技で入賞を達成し、オープングラウンドゴルフ競技も入賞まであと一歩という成果でした。ソフトボール競技は抽選結果、2位となり9月の全国ろうあ者体育大会（鳥取・島根）の出場権を獲得しましたが、残念ながら台風で中止となりました。

運営の立場で見ると、各競技会場で指示する担当者の役割が明確になっていなかったことや要員の皆さんへの説明不足、選手の皆さんへの協力依頼について整理がなされていなかったことなど、いくつか大きな課題がありました。反省点として今後の大会運営に活かしていきます。

(2) 「手話言語の国際デー」記念イベントを南九州大学で開催

9月23日（月・祝）宮崎県人権推進協議会からの助成を受けて、手話言語の国際デー記念イベントを南九州大学（宮崎キャンパス）で開催しました。県内各地からろう者、難聴者、盲ろう者、手話要約筆記関係者、教職員など400名あまりの参加がありました。午前中は宮崎県障がい福祉課から「手話等の普及及び利用促進に関する条例」の説明をしていただいたほか、全日本ろうあ連盟副理事長の長谷川芳弘氏、全日本ろうあ連盟前理事長・県協会前理事長の安藤豊喜氏をお招きしてパネルディスカッションを実施しました。午後からは各会場で様々な体験コーナー、子ども企画、相談コーナー等が行われ、どこも盛況でした。

(3) 宮崎県聴覚障害者協会創立70周年記念式典・祝賀会を開催

11月17日、宮崎観光ホテルで宮崎県聴覚障害者協会創立70周年記念式典・祝賀会を開催し、県内各地から170名あまりの参加をいただきました。全日本ろうあ連盟の石野理事長、九州聴覚障害者団体連合会の松永理事長、大分県聴覚障害者協会

の西村理事長にも公私ご多忙の中ご臨席いただき、歴史的な日を共に祝っていただきました。先人の皆さんは手話が手まね等として低く見られ、社会の中で大きな差別を受けながら、それに負けることのない不屈の精神で70年の長い歴史を積み重ねてこられました。ただ、その恩恵を大きく受け、共生社会という考え方の下で育ってきた若い世代にとっては、ろう運動とは何か、なかなか実感しづらいことだと思います。そのような中で今後の新しいろうあ運動を考えていくためには、皆さん一人一人の協力が欠かせません。今後どうぞよろしく願いいたします。

(4) 第54回全国ろうあ者体育大会の中止

今年10月の全国ろうあ者体育大会を九州分散で開催するにあたって、県協会でも全国ろうあ者体育大会（鳥取・島根）に視察団を派遣し、サッカー・フットサル会場の確保や大会開催に向けた様々な準備に取り組んできました。ところが、新型コロナウイルス感染症の拡大により全日本ろうあ連盟が2020年度の全ての事業を中止したことで、体育大会も中止となりました。今後、これまでに大会のために使った費用について決算報告をまとめたうえで実行委員会を解散することになります。

5. 課題事項について

今年10月に主管開催予定であった全国ろうあ者体育大会が中止になったことで、現在は新型コロナウイルス感染症への対応を進めています。知事会見などをはじめとした情報保障はもちろん、万が一ろう者や難聴者が感染した時の通訳支援をどうするのか、手話通訳者や要約筆記者などの感染リスクをどう考えていくのか。早急に考えていかなければならない課題が多くあります。全日本ろうあ連盟対策チームと共に県とも協力しながら検討を進めていきます。

同時に、会員の高齢化が進み、会費収入の減少が進んでいること、高齢会員への生活支援や多様化する現状に合わせた支援のあり方などを検討する長期ビジョンの作成に力を入れていきます。

この状況は確かに大変な状況ですが、普段なかなかできないことに取り組むチャンスと前向きにとらえて活動に取り組んでいきます。

6. 各専門部事業

2019年度における各専門部事業、県立聴覚障害者センター事業の詳細は後続の報告書のとおりですので、ご検討と意見をお願いいたします。

社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会 事業報告

総務部

(1) 関連組織との連携

全日本ろうあ連盟、九州聴覚障害者団体連合会、各地区協会、各専門部の事業の連絡調整

(2) 各種大会及び研修会参加の推進（主な事業）

- ① 第67回全国ろうあ者大会 6月12日（水）～16日（日）
宮城県にて開催され15名参加（ろうあ者8名、評議員1名、健聴者6名）
- ② 第68回全九州ろうあ者大会・第47回全九州手話通訳者研修会 9月6日（金）～8日（日）
福岡県久留米市にて開催され49名参加（ろうあ者17名、健聴者32名）
- ③ 第1回4団体合同役員会 7月7日（日）
第2回 // 新型コロナ感染拡大により中止

(3) 全国手話研修センター後援会

宮崎県は会員14名（目標100名）

組織部

1、2015年度～2019年度までの県協会会員拡大状況

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
215名	210名	208名	193名	185名

（昨年度と比べると8名減）

- ・データを見て分かるように毎年会員数が減少しつつある。宮崎県だけでなく、全国でも同様に会員が減少している状態。何故会員が減少したのか？理由を会員の方々の声を聞いて、今後いい方向に進めていけるように努めていきたいと思う。

2、日聴紙購読状況

2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
139名	150名	169名	171名

- ・データをみると購読者数が増加傾向しつつある。しかし、県協会会員の方々に対して、購読している人が少ないと聞いています。今後、県協会会員と共に購読拡大に取り組んでいきたいと思えます。

3、年間三大大行事開催

第68回九州ろうあ者大会と第67回全国ろうあ者大会、令和元年度九州ブロック幹部研修会の宮崎県からの目標人数は、ほぼ達成することができました。

4、今後の方針

- ① 県協会会員拡大をしていくことを目標に取り組んでいく。
- ② 日聴紙及び季刊「MIMI」購読者拡大運動。
- ③ 県行事と九州・全国大会に積極的に参加するように取り組んでいく。

体育部

1. 実施した事業

1、第56回全九州ろうあ者スポーツ大会 in みやざき

・日時 2019年5月18日(土)～19日(日)

・宮崎県から出場したスポーツ種目

ソフトボール12名、ソフトバレーボール11名、バドミントン5名

ボウリング3名、グラウンドゴルフ22名→合計53名

・成績結果

◎ソフトボール→	雨天中止(抽選で2位、全国大会出場権獲得)
◎ソフトバレーボール→	準優勝 宮崎県A 3位 宮崎県B
◎バドミントン→	男子シングルス 井戸川典央 3位
	女子シングルス 原口祥子 優勝
	堀口茉希 準優勝
	混合ダブルス 原口祥子・新屋敷剛 準優勝
◎ボウリング→	団体戦 3位 個人戦 小能聖翔 3位
◎グラウンドゴルフ→	入賞なし

2、第53回全国ろうあ者体育大会 in 鳥取・島根

・日程 2019年9月19日～22日

・場所 鳥取県・島根県

・宮崎県から出場したスポーツ種目→バドミントン・ボウリング・ソフトボール・陸上

・成績結果

◎バドミントン→	井戸川典央 男子シングルス1部 ベスト8
	男子ダブルス 1部 初戦敗退
◎ボウリング→	小能聖翔 団体戦(福岡県チームとして出場) 10位
	個人戦 7位
◎ソフトボール→	雨天中止
◎陸上→	天候悪化で交通がストップし出場できず

3、第53回全国ろうあ者体育大会体育部会議出席及び

第54回全国ろうあ者体育大会視察

・日程：2019年9月19日(木)～22日(日)

・会場：鳥取県・島根県

4、第54回全国ろうあ者体育大会(サッカー、フットサル競技)に向けた準備

・日程：2020年10月2日(金)～4日(日)

・会場：【サッカー競技】 西都市 清水台総合運動公園

【フットサル競技】 宮崎市高岡町 天ヶ城公園体育館

① 宮崎県、市、サッカー協会、各施設との協議・準備を行った。

- ② 全日本ろうあ連盟スポーツ委員長 小椋氏と県・市へ行政訪問、会場視察
 - ・日程：2020年2月20日
 - ・会場：宮崎県庁（観光協会）、宮崎市役所（障がい福祉課、スポーツランド推進課）
天ヶ城公園体育館

2. 成果と課題

- ・全国ろうあ者体育大会に向けての準備にあたって事務局と調整し、担当者らと直接会う事によって、様々な進展的な感じが受けられた。まだまだ課題があるが、少しずつ輪を広げたらと思う。⇒ 新型コロナウイルスの影響で開催中止となった。
- ・今年度途中より体育部長の仕事を引き継いだが、各団体の連携、周知方法等が難しい。
- ・各スポーツ団体の連携強化を図り、県スポーツ発展、普及につなげるように進めていきたい。また、宮崎県障がい者スポーツ協会などの団体との関係強化を図ることも検討。

教育対策部

1. 県聴覚障がい教育を考える会 運営委員会

(1) 第1回運営委員会

- 日 時 令和元年5月25日(土) 10:00～
- 場 所 県立聴覚障害者センター 試写室
- 参加者 10名
- 内 容 令和元年度予算及び事業計画について

(2) 第2回運営委員会

- 日 時 令和元年7月6日(土)
- 会 場 宮崎県立聴覚障害者センター 試写室
- 出席者 10名
- 内 容 9月23日「手話言語の国際デー」イベントに合わせた子ども企画の実施について

(3) 第3回運営委員会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止しました。

- 日 時 令和2年3月7日(土)
- 会 場 宮崎県立聴覚障害者センター 試写室

2. 子ども企画の実施 「手話言語の国際デー」において

- 日 時 9月23日(月・秋分の日)
- 会 場 南九州大学宮崎キャンパス
- 参加者 子ども30名(企画ボランティアスタッフの子ども4名を含む)
大人78名(企画スタッフを含まない且つ他ブーススタッフ含む)
- 内 容 用意していたカードは、子どもたちが少ないことから大人へも配布し、即終了。
カードがなくてもゲームはお楽しみいただける内容だったので、盛り上がっていました。客足が減ってから、スタッフ同士でも楽しむことができました。

手話通訳・要約筆記対策部

1. 実施した事業

- (1) 手話奉仕員養成講師研修会
- (2) 宮崎県ろう講師研修会
- (3) 手話通訳者全国統一試験
- (4) 九州ブロック手話指導者養成講師研修会

2. 成果と課題

- ・県センター主催で実施する事業との整理がされていない。

福祉労働対策部

I. 手話言語条例制定の取り組み及び啓発活動に取り組みました。

① 手話言語の国際デー記念イベント

日程：9月23日

会場：南九州大学宮崎キャンパス

参加者：ろう者、難聴者、手話要約筆記関係者、教育関係者等の県民400名

内容：聴覚障害児及びその親による手話歌

手話等の普及及び利用促進に関する条例の説明（県障がい福祉課）

パネルディスカッション 全日本ろうあ連盟副理事長 長谷川芳弘氏

全日ろう連前理事長・県協会前理事長 安藤豊喜氏

宮崎県聴覚障害者協会理事長 松浦邦晴

午後からは子ども企画、機器展示、各種相談を実施

② まちなか文化祭（宮崎市）

日程：10月26日

会場：宮崎市一番街アーケード

内容：ステージイベント ・聞こえないと大変なことについてのトークショー
・身振りで伝えるミニゲーム

手話体験コーナー、筆談体験コーナーの設置

※ 宮崎市聴覚障害者協会及び筆記サポートゆうゆうの皆さんの協力で実施

※ 2020年国民文化祭・障害者芸術文化祭のプレイベントを兼ねたもの

II. ふれあい合同面接会

① ふれあい合同面接会開催の情報提供

（県北地区（延岡市）・宮崎地区（宮崎市）・県西地区（都城市・小林市）開催を「みやざき聴障協ニュース449号」に掲載して情報提供を行った。

② ふれあい合同面接会（宮崎地区会場）に対する手話通訳派遣等の支援をおこなった。

高齢部

- | | | |
|---|-----------|----------|
| (1) 第67回全国ろうあ者大会・高齢者の集い | 6月15日 | 宮城県 |
| (2) 第25回九聴連高齢部幹部研修会 | 7月19日～20日 | 鹿児島県 |
| (3) 第68回全九州ろうあ者大会高齢者研修分科会 | 9月7日 | 福岡県 |
| (4) 宮崎県高齢部研修会・総会 | 9月15日 | 県聴障者センター |
| (5) 第31回全国ろうあ高齢者大会
第33回全国ろうあ高齢者ゲートボール競技大会
第9回全国ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会 | 9月27日～29日 | 和歌山県 |
| (6) 九聴連高齢部委員会・代議員会 | 11月16日 | 福岡県 |

女性部

1. 実施した事業

- | | | |
|------------------------|-----------|--------------|
| (1) 指宿旅行 | 4月1日～2日 | 24名（聞こえる人7名） |
| (2) 第1回～4回九州常任委員会 | 出席：前山 | |
| (3) 第68回全九州ろうあ者大会女性研修会 | 9月8日 | 福岡県 |
| (4) 第46回九聴連女性部委員会 | 11月10日 | 4名 |
| (5) 県女性部ダンス練習 | 1か月に1回～2回 | 16名 |
| (6) 1泊2日忘年会 | 12月14日 | 36名 |

2. 成果と課題

県女性部長として1年間、女性部の皆さんの楽しみ喜びをあげたくて一生懸命やっただと思えます。

青年部

- | | | |
|-------------------------|------------|---------------|
| (1) 青年部定期総会 | 3月9日 | 宮崎市総合福祉保健センター |
| (2) バーベキュー（雨のためランチに変更） | 6月9日 | 宮崎観光ホテル 20名 |
| (3) ビアガーデン | 7月6日～7日 | 都城市 50名 |
| (4) 第68回全九州ろうあ者大会青年研修会 | 9月7日 | 福岡県 |
| (5) 県協会創立70周年記念式典・祝賀会 | 11月17日 | 宮崎観光ホテル |
| (6) N-Action&青年部合同企画忘年会 | 12月29日 | 宮崎市 30名 |
| (7) 手話フェスティバル | 2020年2月11日 | 県聴障者センター |

平成31年度県立聴覚障害者センター業務実績報告（4月～3月）

1. センター利用に関する業務

(1) 研修室・試写室・交流ホール・談話室の利用状況

利用者数	5,600人	(前年度同月比89.4%)
① 研修室	1,849人	(前年度比119.1%)
② 試写室	1,248人	(前年度比63.4%)
③ 交流ホール	2,326人	(前年度比94.3%)
④ 談話コーナー	177人	(前年度比64.1%)

●談話コーナーの利用については、利用申請を必要としていなく、大体の利用者数を把握するために任意記入の利用簿を備えて利用者の把握に努めています。ただ、キチンと記入する人もいれば無記入の利用者もいるので、上記の数字が利用者総数を正確に表わしているものではありません。

(月別利用実績)

	研修室	試写室	交流 ホール	談話 コーナー	合計	前年度 実績	前年度 比較
4月	221	63	70	5	359	415	86.5%
5月	76	122	215	9	422	463	91.1%
6月	113	157	305	9	584	574	101.7%
7月	133	121	264	15	533	649	82.1%
8月	154	97	266	9	526	451	116.6%
9月	173	108	254	35	570	493	115.6%
10月	144	119	374	12	649	716	90.6%
11月	206	122	149	12	489	576	84.9%
12月	200	134	119	10	463	439	105.5%
1月	246	62	14	24	346	377	91.8%
2月	153	126	296	33	608	758	80.2%
3月	30	17	0	4	51	352	14.4%
合計	1,849	1,248	2,326	177	5,600	6,263	89.4%
前年度実績	1,553	1,968	2,466	276	6,263		
前年度比	119%	63.4%	94.3%	64.1%	89.4%		

(曜日別利用実績)

	研修室	試写室	交流ホール	談話コーナー	合計
日	298	256	799	64	1,417
月	262	371	0	11	644
火	295	246	200	14	755
水	2	0	0	4	6
木	198	10	448	26	682
金	541	250	503	19	1,313
土	253	115	376	39	783
合計	1,849	1,248	2,326	177	5,600

(使用目的別実績)

	研修室	試写室	交流ホール	談話コーナー	合計
手話養成	1,014	11	1,210	0	2,235
要約養成	149	49	136	0	334
通訳者等の研修	25	18	268	0	311
手話自主学习	10	572	0	0	582
要約自主学习	434	25	48	12	519
聴覚障がい者の利用	33	343	292	7	675
その他	184	230	372	158	944
合計	1,849	1,248	2,326	177	5,600

(2) センターへの来訪者数 1,258人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所者数 (人)	145	92	117	100	109	129	119	79	93	111	76	88	1,258

(3) センター機器等貸出状況

要約筆記講習会等の行事、講習会等への機器貸出しを行いました。

要約筆記の情報保障、難聴者への貸出、専門学校の手話体験における補聴器貸出が主な利用。

機器名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
OHC	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3	0	6
OHC台	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
プロジェクター	0	2	2	0	1	8	7	1	2	1	0	0	24
接続ケーブル	0	2	1	1	0	1	5	1	1	0	4	0	16
スクリーン	0	1	2	2	0	0	5	0	0	0	0	0	10
補聴器	24	0	30	0	30	13	0	0	0	0	0	0	97
携帯磁気ループ	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
延長コード	0	0	0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	5
HUB	0	0	1	2	0	4	4	2	0	0	2	0	15
LANケーブル	0	0	4	5	0	12	25	8	0	0	8	0	62
貸出用パソコン	0	2	1	1	0	4	7	2	1	1	3	0	22
コミュニケーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2. センターの維持及び保全に関する業務

- ① 県立聴覚障害者センターの安全衛生管理表をもとに、各部屋の担当者ごとに①建物・備品等②消防設備③電気設備④整理整頓・衛生維持の点検とともにセンター内の大掃除を12月27日に行いました。
○毎朝、担当部屋の机上等の清掃を行っています。
- ② 1週間の業務及びセンターの安全の確認のため毎週月曜日に職員の朝礼を行いました。
- ③ 外部委託業者によるセンターのワックス塗布（8月21日、3月4日）を行いました。
- ④ 7月24日に消費生活センターによる建物点検検査が行われ、下記の不良箇所が見つかりました。
○ 空調関係・・・作動不良（談話コーナー、試写室北側、相談室、スタジオ調整室）
○ 音声誘導装置の故障（交流ホール前、エレベーターホール）
- ⑤ 8月6日 台風8号襲来で研修室西側の壁から雨漏りがあり、床に水溜りがあったため3階消費生活センターへ報告しました。
- ⑥ 10月1日 聴覚障害者センター、消費生活センター、視覚障害者センター合同の避難訓練があり、職員その他、難聴者向け手話講習会受講生等8人が参加しました。
- ⑦ 11月19日 センターの空調の切り替えがあり使用可となりました。
- ⑧ 12月18日 空調点検が行われ基盤の不良6ヶ所、モニターの不具合1ヶ所を3階の消費生活センターの職員とともに確認をいたしました。
- ⑨ 1月10日 2階全体の空調の不具合が生じ、業者を呼んで調整をしていただきました。
- ⑩ 2階の空調修理見積を（有）旭空調設備メンテナンスに依頼し、県障がい福祉課に引き継ぎました。
- ⑪ 災害用防災ヘルメットを20個購入し、聴覚障害者用10個（黄緑）、健聴者用10（オレンジ）に分け、職員は常備するようにしました。
- ⑫ 3月5日 自衛消防訓練が行われ、職員はヘルメットを着用して参加しました。
- ⑬ 3月27日 （有）旭空調設備メンテナンスに依頼されていた空調の修理が終了しました。

3. 県立聴覚障害者センターにおける聴覚障がい者に関する啓発事業の企画運営業務

(1) 聴覚障がい者のためのセミナー開催

期 日 6月30日（日）
会 場 県立聴覚障害者センター・交流ホール
参加者 49名（聴覚障がい者21名、中途失聴者6名、通訳者等22名）
内 容 講演テーマ「悪い業者にだまされないために」
講師 宮崎県消費生活センター 専門主幹 甲斐善哉氏

(2) 県高齢部による聴覚障がい者のためのセミナー開催

期 日 9月15日（日）
会 場 県立聴覚障害者センター・交流ホール
参加者 42名（聴覚障がい者31名、通訳者2名、要約筆記者9名）
内 容 講演テーマ「遺品整理」、「生前整理」、終活をはじめよう
講師 エンディングサポートみやざき 遺品整理士 森山知子氏

(3) みやざき聴障センターだよりの発行

年4回（4月 第9号、7月 第10号、10月 第11号、1月 第12号）地域協会、県及び市町村等関係機関に対し発行しました。

- (4) 街市実行委員会に主催による「大街市祭」及び「まちなか文化祭」に参加し手話言語条例に関する啓発及び要約筆記の広報活動を行いました。

期 日 令和元年10月26日(土)

会 場 一番街 山形屋四季ふれあいモール

参加人数 25人(聴覚障害者12人 手話通訳者3人 要約筆記者4人 職員6人)

- (5) 第18回手話フェスティバルの開催

期 日 令和2年2月11日

会 場 県立聴覚障害者センター及び視覚障害者センター(調理室、研修室、和室)

参加人数 約200人

概 要 県内各地から聴覚障がい者、手話、要約筆記関係者、手話に関心のある県民200人名が参加しました。

発表コーナー：第54回全国ろうあ者体育大会、映画「咲む」PR企画、手話を学ぶ専門学校学生、トヨタカローラ宮崎、宮崎銀行手話サークル、新富手話サークルの手話歌や宮崎公立大学のフラダンスを発表しました。午後の部は県聴覚障害者協会青年部と全通研N-Action、大学生、専門学校生によるクイズやゲームで参加者一同楽しく手話を通じた交流を深めました。

展示販売コーナー：11の団体・企業が手作り製品等販売、8団体が体験コーナーを実施し、参加者が和やかな雰囲気の中で進められました。

- (6) センター満足度調査の実施

期 間 1月20日から2月29日まで調査を行いました。

回答数 97名

結 果

① 満足度について

満足度については、満足した、まあまあ満足したとの回答を合わせて9割でした。不満があったと回答した方がおられることを心に留めて改善すべき点は改善していきます。

② 満足の内容

満足度のトップは「講座・講習会の内容、進捗が良かった」、次に来所の目的が果たせた、「会場・トイレなどが清潔であった」となりました。

効果的な講座・研修会の企画、センター設備の清潔さ、講義車庫の真剣な取り組みが評価に表れたと思われます。

③ 不満の内容

「講座内容、進捗が悪くなかった」「会場・トイレなどに問題があった」との回答がありました。講座内容や進捗については、講義車庫の中で意見交換を十分に行い改善していきます。

また、トイレの問題は、和式トイレにかかむことが困難な方からのご意見でしたので、身障者トイレの利用を案内したいと思います。

他に空調の故障が多いとの意見がありましたが、空調については修理を行いました。

④ 職員の対応評価

服装・姿勢・会話等の評価は「良い」「まあまあ良い」合わせて9割を超え大変好意的な評価でした。ただ、不満が全くないわけではなく、「もっとやさしく接してほしい」というご意見も出ています。職員の言動が冷たい印象を与えてないか、または、マンネリ化や礼儀の欠如はないかなど、心にしっかり留めて対応したいと思います。

4. 聴覚障害者用字幕（手話）入りビデオカセットテープ・DVDの製作に関する業務

(1) 手話ビデオ作製

No.	題名	分	備考
1	第44回宮崎県耳の日記念大会（全体）	71	実行委員会に納品
2	第44回宮崎県耳の日記念大会（記念講演）	91	実行委員会に納品
3	手話言語条例 パブリックコメント	30	県に納品
4	手話等の普及及び利用促進に関する条例	23	県に納品
5	青年部「ハカ 抽選会」（県協会70周年）	24	実費販売
6	女性部「ダンス」（県協会70周年）	11	実費販売
7	「重役名」手話表現	12	県に納品
8	試験採点用DVD（全国手話統一試験）	187	
	合計	447	

(2) 聴覚障害者用字幕（手話）入りビデオカセットテープの貸出に関する業務

- ① 貸出利用者数 56人
- ② 貸出本数 238本
- ③ 月別貸出利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 実績	前年度 比較
センター	利用者	5	11	15	2	2	6	3	5	3	2	2	0	56	130	43.0%
	本数	27	27	55	8	16	28	18	32	12	8	7	0	238	453	52.5%

(3) 県立聴覚障害者センター貸出利用状況

		分類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度 実績	前年度 比較
利用者数	ろう者	2	4	3	0	0	1	1	0	0	0	1	0	12	16	75.0%	
	聴者	3	7	12	2	1	4	2	3	2	1	0	0	37	114	32.4%	
	団体	0	0	0	0	1	1	0	2	1	1	1	0	7	0	0.0%	
	合計	5	11	15	2	2	6	3	5	3	2	2	0	56	130	43.0%	
貸出本数	ろう者	10	11	17	0	0	4	5	0	0	0	2	0	49	97	50.5%	
	聴者	17	16	38	8	1	16	13	13	11	3	0	0	136	356	38.2%	
	団体	0	0	0	0	15	8	0	19	1	5	5	0	53	0	0.0%	
	合計	27	27	55	8	16	28	18	32	12	8	7	0	238	453	52.5%	

5. 手話奉仕員等、要約筆記者の育成及び派遣に関する業務

県立聴覚障害者センターにおいて下記の養成講座を実施しました。

※3月の講座は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために休講しました。

(1) 手話奉仕員

- ・実施期間 5月16日(木)～3月12日(木)
- ・修了者 15名(宮崎市15名)

(2) 手話通訳Ⅰ

- ・実施期間 4月12日(金)～10月11日(金)
- ・修了者 25名(宮崎市22名、宮崎県3名)

(3) 手話通訳Ⅱ

- ・実施期間 10月18日(金)～3月27日(金)
- ・修了者 16名(宮崎市14名、宮崎県2名)

(4) 手話通訳Ⅲ

- ・実施期間 4月22日(月)～11月18日(月)
- ・修了者 12名(宮崎市11名、宮崎県1名)

(5) 要約筆記者養成講座

要約筆記者養成カリキュラムに沿って講座を実施しました。

- ・宮崎会場(後期：手書きコース及びPCコースの両クラスを実施)
平成31年4月～令和元年11月
- ・日向会場(前期：PCコース)
令和元年9月～令和2年3月

(6) 要約筆記者のための研修

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。

- 1) 要約筆記者講師研修会
- 2) 要約筆記者ステップアップ研修会
- 3) 全国統一要約筆記者認定試験対策学習会
- 4) 要約筆記者指導者養成研修会

(7) 全国統一要約筆記者認定試験を下記のとおり実施しました。

- ・期 日 令和2年2月16日(日)
- ・会 場 県立聴覚障害者センター
- ・受験者 手書き：3名 パソコン：5名
- ・合格者 手書き：0名 パソコン：3名

(8) 要約筆記体験会 要約筆記体験会を開き、講座の呼びかけと要約筆記の普及に努めました。

6. 聴覚障害者に対する相談業務 (2019年度の相談件数 173件)

相談種別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	職業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
2	医療	0	0	0	2	0	1	13	6	2	9	7	4	44
3	年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	教育	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
5	住宅	0	1	1	3	1	0	0	0	0	1	0	0	7
6	生活	2	1	6	8	2	1	5	1	5	5	5	1	42
7	人間関係	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4	6
8	保育・育児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	情報・コミュニケーション	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	5
10	交通事故等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	手話通訳者派遣	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
12	要約筆記者派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	法律	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
14	手続き	2	1	3	0	2	0	3	2	2	1	2	3	21
15	その他	1	3	3	4	5	3	6	2	2	5	4	3	41
計		6	7	14	18	11	7	27	12	12	21	19	19	173

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
経路	来所	3	2	10	6	4	4	1	2	5	8	6	5	56
	FAX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	TEL)	3	3	4	7	4	1	15	4	2	6	5	4	58
	家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	訪問	0	2	0	5	2	2	11	6	5	5	8	10	56
計		6	7	14	18	11	7	27	12	12	21	19	19	173

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
聴覚障害者	4	4	11	18	9	6	6	6	9	15	17	16	121
健聴者	4	3	5	4	3	1	22	6	4	7	2	4	65
計	8	7	16	22	12	7	28	12	13	22	19	20	186

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
性別	男	4	5	11	9	6	7	12	3	6	10	10	7	90
	女	4	2	5	13	6	0	16	9	7	12	9	13	96
計		8	7	16	22	12	7	28	12	13	22	19	20	186

※ 相談数に比べ、聴覚障害者、健聴者、性別の数が多いのは、1件につき複数の相談があったため。

7. 聴覚障害者に対する手話講習、技術訓練その他の教養講習の実施に関する業務

(1) 難聴者向け手話講習会

日 程 毎週火曜日 14:00~15:30

令和元年7月30日~令和2年3月24日 25回のところ、20回実施しました。

※3月の講座は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために休講しました。

会 場 県立聴覚障害者センター

【難聴者向け手話講習会実績】

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
難聴者	5	14	20	19	15	11	15	11	110
協力者	3	5	5	9	5	2	3	3	35
計	8	19	25	28	20	13	18	14	145

(2) 県女性部によるダンスの練習

11月17日の宮崎県聴覚障害者協会創立70周年記念祝賀会においてダンスを披露するため指導を行った。

・ダンスの曲目 「観光宮崎」、「僕ら今日も生きている」

・実施日

月 日	時 間	参加者数	会 場
5月26日(日)	10:00~12:00	13人	都城市総合社会福祉センター
6月30日(日)	10:00~12:00	19人	県立聴覚障害者センター交流ホール
7月7日(日)	10:00~12:00	18人	県立聴覚障害者センター交流ホール
7月28日(日)	10:00~12:00	15人	県立聴覚障害者センター試写室
8月4日(日)	10:00~12:00	16人	県立聴覚障害者センター試写室
8月24日(土)	10:00~12:00	16人	県立聴覚障害者センター交流ホール
9月8日(日)	10:00~12:00	11人	県立聴覚障害者センター試写室
9月16日(月)	10:30~12:30	10人	都城市総合社会福祉センター
10月6日(日)	13:00~15:00	17人	県立聴覚障害者センター交流ホール
10月20日(日)	10:00~12:00	13人	県立聴覚障害者センター試写室
11月10日(日)	13:00~15:00	17人	県立聴覚障害者センター試写室
11月17日(日)		18人	宮崎観光ホテル

8. その他知事が必要と認める業務

(1) ホームページ等の運用

アドレス <http://msen.sakura.ne.jp/index.html> 2001年8月22日開設

ホームページアクセス数 4,403件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
カウント	301	310	240	327	323	375	295	329	250	409	514	730	4,403

(2) 職員の能力育成（研修体制）

「聴覚障害者センター」の適正な業務推進のために、組織内でのコミュニケーションの促進と自己研磨を促す職場体制を確立させるとともに、職員一人ひとりの社会的、組織的な能力と、知識・技術等の専門的な能力育成のために、次のような研修に出席しました。

氏名	役職	期日	場所	研修内容
田中順子	所長	6月20日（木） ～ 21日（金）	長野県 ホテル信濃路 長野市生涯学習セ ンター	全国聴覚障害者情報提供施設協 議会総会及び第15回全国聴覚 障害者情報提供施設大会
吉岡亜紀子	通訳等養 成主任	7月24日（水） ～26日（金）	全国手話研修セン ター 京都市聴覚言語障 害者センター	2019年度意思疎通支援者担当 者研修会
田中順子 吉岡亜紀子	所長 通訳等派 遣主任	12月 12日（木）～ 13日（金）	北九州市立西部障 害者福祉会館	特定非営利活動法人 全国聴覚 障害者情報提供施設協議会九州 ブロック施設長会議及び研修会

宮崎県委託事業 聴覚障がい者等福祉推進事業実績報告

1 手話奉仕員等養成・指導者研修事業

1. 目的

手話奉仕員等養成事業実施要綱に基づき下記の内容で手話奉仕員及び手話通訳者、手話通訳士の養成講座を実施し、聴覚障がい者等の福祉の増進に資することを目的とし実施しました。

2. 手話奉仕員養成講座

(1) 実施会場

県内11市町で実施しました。別添1参照

市独自実施：宮崎市

市町村独自実施：日向市・都城市・小林市・西都市・高原町・三股町

(2) 使用教材

『新手話教室入門』と『手話教室基礎』の内容が1冊に盛り込まれた厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応の「手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう」をテキストとして使用し実施しました。

(3) 養成時間 70時間

実技編 入門課程(27時間) 基礎課程(33時間)

講義編 10時間

(4) 養成講師研修会・指導者養成研修会報告会

講座実施に向けた指導内容、指導方法についての学習会を実施し、講座の充実につなげました。

期 日 令和元年6月17日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者数 74名

(5) 手話体験会

手話講習会を実施できない下記の地域で、手話の体験会を開き手話の普及に努めました。

【手話体験会実績一覧表】

番号	地 域	会 場	実施日	参加人数
1	串間市	串間市総合保健福祉センター	11月 7日	16名
			11月14日	18名
2	都農町	都農町役場	1月29日	11名
3	日之影町	新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止		
4	美郷町	// //		
5	五ヶ瀬町	// //		
6	椎葉村	// //		
7	西米良村	西米良村福祉センター	2月 8日	12名
8	諸塚村	新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止		
9	国富町	国富町社会福祉協議会	1月15日	4名
			1月29日	7名
10	綾町	ユネスコエコパーク	2月 5日	3名
			2月19日	3名

3. 手話通訳者養成講座

(1) 実施会場 別添1参照

県内の手話通訳者派遣事業の充実につなげるために下記の6地域において実施しました。

- ①延岡地区 ②日向地区
- ③児湯地区 ④都城地区
- ⑤西諸地区 ⑥高千穂地区

(2) 使用教材

手話通訳Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで下記の教材を使用して講座を実施しました。

- ① 手話通訳Ⅰ 「手話通訳Ⅰ ホップ ステップ ジャンプ」
- ② 手話通訳Ⅱ 「手話通訳Ⅱ ホップ ステップ ジャンプ」
- ③ 手話通訳Ⅲ 「手話通訳Ⅲ ホップ ステップ ジャンプ」
- ④ 講義編

(3) 養成時間 120時間

実技編 手話通訳Ⅰ (48時間)
 手話通訳Ⅱ (45時間)
 手話通訳Ⅲ (15時間)
 講義編 12時間

(4) 養成講師研修会

講座実施に向けた指導内容、指導方法についての学習会を実施し、講座の充実につなげました。

【1】手話通訳者Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ養成講師研修会

期 日 令和元年7月20日(土)～21日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者数 43名

【2】ろう講師養成講師研修会

期 日 令和元年11月24日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者数 24名

(5) 現任手話通訳者研修会

期 日 令和元年10月20日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者数 23名

(6) 手話通訳者全国統一試験対策学習会

期 日 令和元年11月4日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者数 31名

会 場 延岡市社会福祉センター

参加者数 10名

(7) 手話通訳者全国統一試験

期 日 令和元年12月7日(土)

会 場 県立聴覚障害者センター

受験者数 41名

合格者数 7名(令和2年3月2日結果発表)

外村正司(都城市)、相良登記子(都城市)、大久保富美(延岡市)、
矢野洋子(川南町)、金丸哲也(宮崎市)、安在真帆(宮崎市)、
横山雅恵(宮崎市)

4. 手話通訳士養成講座

手話通訳技能認定試験（手話通訳士）合格を目指す手話通訳者を対象に養成研修会を実施しました。6月の研修は公開講座とし、受験の予定のない方でも受講可能にした筆記試験対策と実技試験対策を行い、8月は実技試験対策中心の研修を実施しました。

月 日	内 容	科 目	講 師	参加者
6/22 (土)	10:00-12:00	聴覚障害者の基礎知識及び障害者福祉の基礎知識・手話通訳のあり方	稲倉里衣子氏 中村美代子氏 満平ほたる氏	18名
	13:00-16:00	実技試験学習・読み取り通訳①		
6/23 (日)	13:00-17:00	国語	日章学園中学校 小檜山聡子氏	17名
8/24 (土)	13:00-17:00	実技試験学習・読み取り通訳②	嶋田 智子氏 満平 美幸氏	7名
8/25 (日)	10:00-16:00	実技試験学習・聞き取り通訳	センター職員 前山 玲子氏 盛田 弘氏	6名

◎第31回手話通訳技能認定試験（手話通訳士）結果（本県関係）

期 日 令和元年10月5日（土）～10月6日（日）
 試験会場 熊本市他
 受験者数 9名
 合格者数 1名 阿萬清香（西都市）

【宮崎県手話奉仕員及び手話通訳者養成講座実績】 別表1

地域	会 場	実施日	時間・内容	手話講習会修了者数			
				奉仕員	通訳Ⅰ	通訳Ⅱ	通訳Ⅲ
高千穂町	高千穂中央公民館	毎週水曜日	20:00-22:00	6	7	2	
		4月～3月	奉仕員・通訳Ⅱ				
延岡市	延岡 社会福祉センター	毎週火曜日	19:00-20:30	15	20	7	
		4月～3月	奉仕員・ 通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
門川町	門川町 総合福祉センター	毎週月曜日	19:30-21:00	5			
		4月～3月	奉仕員				
日向市	日向市 総合福祉センター	毎週木曜日	19:00-21:00		3	5	
		4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
新富町	新富町 総合交流センター	毎週火曜日	19:30-21:30	4			
		4月～3月	奉仕員				
	新富町中央公民館	毎週金曜日	19:30-21:00			4	4
		4月～3月	通訳Ⅱ・Ⅲ				
木城町	木城町 福祉センター	毎週木曜日	19:30-21:30	1			
		4月～3月	奉仕員				
川南町	川南町公民館	毎週水曜日	19:30-21:00	8			
		4月～3月	奉仕員				
高鍋町	高鍋老人福祉会館	毎週火曜日	19:30-21:00	3			
		4月～3月	奉仕員				
都城市	都城市 総合社会福祉 センター	毎週火曜日	19:00-21:00		4		
		5月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
日南市	日南南別館 ボランティア室	毎週水曜日	19:00-21:00	8			
		4月～3月	奉仕員				
小林市	小林 社会福祉センター	毎週水曜日	19:00-21:00		10	2	
		4月～3月	通訳Ⅰ・通訳Ⅱ				
えびの市	えびの市 文化センター	毎週火曜日	19:30-21:00	4			
		4月～3月	奉仕員				
宮崎市	花山手・ 聴障センター	毎週月～金	奉仕員 通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	1	3	2	1
		4月～3月					
合 計				55	47	22	5

2 要約筆記者養成・指導者研修事業

1. 目的

聴覚障害者、とりわけ中途失聴・難聴者の生活及び関連する福祉制度や権利擁護、対人援助等についての理解と認識を深めるとともに、難聴者等の多様なニーズに対応できる要約筆記を行うに必要な知識及び技術の習得することを目的に実施しました。

2. 要約筆記者養成カリキュラム時間数（前期・後期）

84時間以上：必修科目74時間＋選択必修科目10時間以上

必修科目74時間（講義44時間＋実技30時間）

選択必修科目28時間（講義10時間＋実技18時間）

3. 要約筆記者養成講座

要約筆記者養成カリキュラムに沿って講座を実施しました。

① 日向会場（PCコースを実施）：日向市障がい者センターあいとぴあ
令和元年9月～令和2年3月 パソコンコース 6名（前期）

② 宮崎会場（手書きコース、パソコンコース）
平成31年4月～令和元年11月

4. 要約筆記者のための研修

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。

(1) 要約筆記者講師研修会

月日	内 容	講 師	参加者数
5月25日 (土)	《共通》手書きコース・パソコンコース 要約筆記者養成テキスト下の指導方法	(特非) 全要研 松井美智子氏	15名
5月26日 (日)	PCコース：第11・12講 要約筆記の実技指導法について		6名
	手書きコース：第11・12講 要約筆記の実技指導法について		10名

(2) 要約筆記者ステップアップ研修会

要約筆記者に必要な技術、知識を習得するためにステップアップ研修会を開催し、本県、要約筆記者の充実を図ることを目的に下記の学習会を実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加者数
8月31日 (土)	《共通》手書きコース・PCコース 要約筆記者の倫理・あり方	(特非) 全要研 山岡千恵子氏	17名
9月 1日 (日)	手書きコース：チームワークの考え方		11名
	PCコース：チームワークの考え方		12名
11月9日 (土)	《共通》手書きコース・PCコース 対人支援 事例検討をとおして	(特非) 全要研 松井美智子氏	18名
11月10日 (日)	手書きコース：ノートテイクの対応と実践		11名
		PCコース：ノートテイクの対応と実践	10名

(3) 要約筆記体験会

期 日 令和元年7月6日(土)

会 場 日向市障がい者センターあいとぴあ

参加者 PC 10名

(4) 全国統一要約筆記者認定試験対策学習会

表記試験対策として下記の学習会を実施しました。

【第1回】

期 日 令和元年12月15日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 PC 5名 手書き 2名

【第2回】

期 日 令和2年1月19日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者 手書き 3名 PC 6名

(5) 全国統一要約筆記者認定試験を下記のとおり実施しました。

期 日 令和2年2月16日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

受験者 手書き：3名 パソコン：5名

合格者 手書き：0名 パソコン：3名

(6) 要約筆記者指導者養成研修会

東京会場で開催された「平成31年度要約筆記者指導者養成研修基礎コース」に
県内の要約筆記者1名が参加し、要約筆記者養成の目的や指導方法を学びました。

3 難聴者等に対するボランティア向け手話講座

1. 目的

手話を知らない難聴者・中途失聴者が、手話技術を習得することによって新たにコミュニケーションの手段を獲得し、社会参加を行えるよう支援することを目的に難聴者向けの手話講座を実施しました。

2. 対象者

身体障害者手帳の有無に関わらず手話を学びたい難聴者・中途失聴者またはその家族等を対象に実施しました。

3. 講座内容

日 程 毎週火曜日 14:00～15:30
令和元年7月30日～令和2年3月24日
25回のところ、20回実施
※3月の講座は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために休講しました。

会 場 県立聴覚障害者センター
参加者数

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
難聴者	5	14	20	19	15	11	15	11	110
協力者	3	5	5	9	5	2	3	3	35
計	8	19	25	28	20	13	18	14	145

4. 講座指導講師の募集

難聴者・中途失聴者向けの手話講習会の指導を担う講師の募集を行い効果的な講座運営体制を計りました。

5. 講座指導講師の事前学習会の実施

難聴者・中途失聴者を対象とした指導に必要な指導法を講師間で事前学習を行い円滑な意義ある講座としました。

6. 難聴者・中途失聴者受講者に対する情報提供

地域や家庭内においても情報・コミュニケーションから疎外されている難聴者・中途失聴者の受講生に対し必要な情報提供を行いました。

7. 手話体験会

①第1回

期 日 令和2年2月22日（土）

参加者 難聴者 2名

②第2回

新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止しました。

4 手話通訳者等派遣事業

手話通訳者派遣等関係

事業所等が主催する行事に配置する手話通訳者及び要約筆記者の派遣を実施しました。

No.	関係機関	人数	備考
1	国民文化祭・障害者芸術文化祭課 第4回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会 企画運営委員会	2名	手話通訳者2名
2	人権同和对策課 宮崎県人権啓発推進協議会第39回総会	2名	手話通訳者2名
3	スポーツ振興課 みやざき県民総合スポーツ祭・開会式	2名	手話通訳者2名
4	青少年育成県民会議 青少年の主張宮崎県大会	3名	手話通訳者3名
5	高校教育課 第41回宮崎県高等学校総合文化祭	2名	手話通訳者2名
6	生活・協働・男女参画課 令和元年度「宮崎県犯罪のない安全で安心なまちづくり県民のつどい」	2名	手話通訳者2名
7	生涯学習課 第4回宮崎県生涯学習実践研究交流会	2名	手話通訳者2名
8	生涯学習課 宮崎発 Live! Library 図書館フォーラム2019	4名	要約筆記者4名
9	文化財課 第61回九州地区民俗芸能大会	1名	手話通訳者1名
10	青少年育成県民会議 「青少年の主張宮崎県大会」受賞者と知事の意見交換	2名	手話通訳者2名
11	国民文化祭・障害者芸術文化祭課 ①聴覚障害者とともに国文祭・芸文祭の事業を行う高鍋町内各会場のフィールドワーク	2名	手話通訳者2名
12	国民文化祭・障害者芸術文化祭課 ②上記①で発見した課題についてのワークショップ	2名	手話通訳者2名
13	雇用労働政策課 宮崎県内企業・進学体験イベント「OOごっこ」	2名	手話通訳者2名
14	総合政策課 オール宮崎の「想い」を託そう！～みんなの想いを聖火に載せる「ひなたフラッグ」&「ひなた横断幕」授与式～	1名	手話通訳者1名
15	総合政策課 ユニバーサルデザイン講演会	2名	手話通訳者2名
16	国民文化祭・障害者芸術文化祭課 宮崎市中心市街地での国文祭・芸文祭を見据えたフィールドリサーチ	4名	手話通訳者4名
17	雇用労働政策課 令和元年度高校生等企業ガイダンス 県西地区	2名	手話通訳者2名
18	みやざき文化振興課 宮崎県郷土先覚者講演会	2名	手話通訳者2名
19	雇用労働政策課 令和元年度高校生等企業ガイダンス 県央地区	2名	手話通訳者2名
合 計		41名	

5 手話通訳者及び要約筆記者の健康に関する相談対応

1. 目的

本県の聴覚障害者の社会参加を支える手話通訳者・要約筆記者の健康と安全を確保することを目的に下記の事業を行いました。

2. 事業内容

(1) 手話通訳者・要約筆記者・盲ろう者向け通訳介助員 健康調査

頸肩腕障害に関する健康診断を実施するための県内市町村に登録する手話通訳者・要約筆記者の実態把握を行いました。

(2) 健康調査送付数

- | | |
|-----------|------|
| ① 専任通訳者 | 5名 |
| ② 登録手話通訳者 | 100名 |
| ③ 登録要約筆記者 | 48名 |
| ④ 合計 | 153名 |

(3) 健康調査回答内容

- | | |
|-------|--------------|
| ① 回答数 | 102名（回答率69%） |
| ② 内訳 | |

身分	送付数	回答数
専任通訳者	5	5
手話通訳者	100	58
要約筆記者	48	20
手話通訳者、要約筆記者を兼ねる		9
手話通訳者、要約筆記者、盲ろう者向け通訳・介助員を兼ねる		2
不明		8

(4) 医療機関との連携

効果的な特殊検診実施に向けて医療機関（獅子目整形外科 獅子目亨医師）と打ち合わせを行いました。

- ① 期日 2月1日（土） 場所 獅子目整形外科

② 打合せ内容

- ・特殊検診実施内容
- ・要検診対象者の振り分け基準の検討
- ・実施時期 3月21日（土）県立聴覚障害者センターにて実施を確認

(5) 特殊検診実施の通知

- ① スクリーニングの結果、必要と認められる手話通訳者・要約筆記者（24名）に対し特殊検診を実施の通知を行いました。

② 特殊検診の中止

3月21日（土）に県立聴覚障害者センターにおいて実施予定の特殊検診は新型コロナウイルス感染予防のために中止しました。新型コロナウイルス状況を見ながら2020年内に実施予定です。

(6) 手話通訳者・要約筆記者・盲ろう者向け通訳介助員 健康調査の概要

1. 年齢 未回答者 4人

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計	平均年齢
2	6	16	26	32	13	3	98	57.9歳
2.0%	6.1%	16.3%	26.5%	32.7%	13.3%	3.1%		

2. 性別

男	7	6.9%
女	95	93.1%
合計	102	

3. 居住地

市町村	登録者数	%
宮崎市	44	43.1%
都城市	1	1.0%
延岡市	16	15.7%
日南市	5	4.9%
小林市	1	1.0%
日向市	14	13.7%
西都市	1	1.0%
えびの市	1	1.0%
国富町	1	1.0%
綾町	2	2.0%
高鍋町	6	5.9%
新富町	3	2.9%
川南町	1	1.0%
都農町	3	2.9%
門川町	3	2.9%
	102	

4. 自覚症状 複数回答

	ある	%
ふとんの上げ下ろしがつらい	4	3.9%
髪をとくのがつらい	1	1.0%
タオルを固くしぼれない	6	5.9%
夜中に腕がしびれて目が覚める	6	5.9%
ボタンをはめにくい	2	2.0%
ものをよく手から落とす	7	6.9%
よくものにつまづく	9	8.8%
天気の良い日はからだの具合がよくない	13	12.7%
冷房がつらい	10	9.8%

不快な夢をよく見る	2	2.0%
本を長くつづけて読む根気がない	19	18.6%
集中力が低下した、または持続しない	18	17.6%
テレビを見ているとすぐ疲れる	5	4.9%
物忘れが激しい	10	9.8%
すぐに横になりたくなる	11	10.8%
ゆううつである	4	3.9%
他人の話を聞いていると肩や頸や腕が痛くなる	2	2.0%
他人の手話を見ていると肩や頸や腕が痛くなる	0	0.0%
長時間、座っているのがつらい	10	9.8%
ろうあ者（難聴者、盲ろう者）や手話（要約筆記者・盲ろう者向け通訳介助員）仲間と会うのが最近いやになった	1	1.0%

5. からだの症状 複数回答

※複数回答

症状	いつも		ときどき		いつも・ときどき合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
肩がこる	33	32.4%	34	33.3%	67	65.7%
首がこる	22	21.6%	25	24.5%	47	46.1%
肩がだるい	6	5.9%	8	7.8%	14	13.7%
首がだるい	6	5.9%	7	6.9%	13	12.7%
腕がだるい	3	2.9%	4	3.9%	7	6.9%
手指がだるい	2	2.0%	3	2.9%	5	4.9%
腰がだるい	4	3.9%	10	9.8%	14	13.7%
下肢がだるい	3	2.9%	5	4.9%	8	7.8%
肩が痛い	6	5.9%	10	9.8%	16	15.7%
首が痛い	4	3.9%	9	8.8%	13	12.7%
腕が痛い	2	2.0%	4	3.9%	6	5.9%
腰が痛い	5	4.9%	13	12.7%	18	17.6%
手指が痛い	3	2.9%	8	7.8%	11	10.8%
下肢が痛い	4	3.9%	5	4.9%	9	8.8%
腕がしびれる	1	1.0%	3	2.9%	4	3.9%
手指がしびれる	5	4.9%	7	6.9%	12	11.8%
下肢がしびれる	2	2.0%	5	4.9%	7	6.9%
手指が冷える	11	10.8%	16	15.7%	27	26.5%
下肢が冷える	12	11.8%	8	7.8%	20	19.6%

6. 運動習慣

	こころがけている	%
階段を使うなど、普段から歩くことをこころがけている	79	77.5%
日常生活の中で、できるだけ体を動かすようにこころがけている	77	75.5%

7. 運動の頻度

①ほとんど毎日	12	11.8%
②1週間に3、4回	16	15.7%
③1週間に1、2回	27	26.5%
④月に1、2回	20	19.6%
⑤まったくしていない	20	19.6%

8. 運動の種類 複数回答

運動の種類		
ウォーキング	45	44.1%
ジョギング	5	4.9%
水泳	3	2.9%
体操	27	26.5%
ストレッチング	45	44.1%
その他	26	25.5%

9. 通訳以外に収入を伴う仕事の状況

通訳以外に収入を伴う仕事を	している	50人	49%
	していない	52人	51%

10. 通院・治療中の有無

通院・治療中の有無	ある	27人	26.5%
-----------	----	-----	-------

手話通訳設置事業報告

1. 目的

身体障がい者福祉に理解と熱意を有する手話技術を習得した手話通訳者を設置し、聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者（以下「聴覚障がい者等」という）の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションを円滑に行い、もってその福祉の増進を図ることを目的として手話通訳設置事業を実施しました。

2. 実施の方法

専任者を採用し、社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会事務所に常駐させ、下記の内容の業務に当たりました。

3. 業務内容は次のとおり。

- (1) 県関係の手話通訳全般
- (2) 意志疎通支援事業の推進と指導
- (3) 関係機関・聴覚障がい者等からの依頼に応える手話通訳および手話通訳者
- (4) 手話関係事業の事務整理・連絡
- (5) 聴覚障がい者等の支援等についての相談等を関係機関に伝達するための仲介
- (6) 民生員、医療機関等、日常生活における相談、支援等を行う機関からの依頼に応える手話通訳

3) 通訳実績

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1 職業・労働	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 手続き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 縁談・結婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 家族関係	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5 育児・保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 教育	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7 住宅・住居	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1	5
8 保健・医療	1	0	1	1	2	2	7	6	5	0	3	3	31
9 集会	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
10 選挙	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
11 警察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12 裁判	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
13 会議	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
14 講習会	1	1	4	8	2	3	6	1	1	0	1	0	28
15 その他	10	8	6	2	2	0	1	5	0	0	3	7	44
計	13	12	14	14	6	5	15	12	6	0	8	12	117

盲ろう者向け通訳・介助員養成・指導者研修事業実績報告

1. 目的

盲ろう者向け通訳・介助員養成カリキュラムをもとに本県の盲ろう者の社会参加促進のための効果的な事業を実施しました。

2. 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会受講

■ 代表派遣

盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会の指導者養成のために平成 26 年度盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会修了者の大澤裕貴子氏 1 名を派遣しました。

- 日程 令和元年11月1日（金）12：30～11月4日（月）
- 場所 全国障害者総合福祉総合センター（戸山サンライズ）
- 主催 社会福祉法人 全国盲ろう者協会

3. 養成講座

- (1) 会場 県立聴覚障害者センター
- (2) カリキュラム

盲ろう者向け通訳・介助員養成カリキュラムの必須科目を中心に盲ろう者との交流も加え実施しました。

日程	9/26、11/10、12/1、1/19、2/9
講座回数	5回
時間数	25時間
修了者数	12名
盲ろう者の参加数	延べ4名

(3) 講師体制

- ① 盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会受講者の担当
社会福祉法人全国盲ろう者協会主催の盲ろう者向け通訳・介助員養成講習会指導者養成研修会修了者2名に依頼しました。
- ② 盲ろう者の参加
「盲ろう者の日常生活とニーズ」1名
「盲ろうコミュニケーション実習Ⅰ・Ⅱ」3名

(4) 外部講師

- 視覚障害の理解
宮崎市視覚障害者福祉協会 会長 永吉満氏氏
- 盲ろう者のコミュニケーション技法と留意点（点字）
県立視覚障害者センター 本部かの子氏
- 移動介助実習Ⅰ・Ⅱ
歩行訓練士 三村 直樹氏

4. 盲ろう者向け通訳・介助員スキルアップ研修会開催

- 3月22日（日）に県立聴覚障害者センターにおいて実施予定でしたが、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。

県立高等学校生活支援員配置事業実績報告

1. 目的

県立高等学校に在籍する聴覚に障がいのある生徒が、教育課程を円滑に履修できるように必要に応じて支援を行う生活支援員を配置し、教育の機会均等を保障する。

2. 業務委託先契約先並びに対象者（聴覚に障がいのある生徒）

- ・宮崎県立宮崎北高等学校 1名（1年生）
- ・宮崎県立佐土原高等学校 1名（1年生）

3. 支援実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
宮崎北	人員	9	8	7	8	6	7	9	8	9	9	8	2	90
	日数	11	15	16	16	6	14	18	14	17	16	13	2	153
	時間	35.5	58.50	55.50	34.25	14.00	45.75	57.25	43.25	51.75	48.25	34.75	2.50	481.25
佐土原	人員	5	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
	日数	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	時間	15.5	3.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18.75

年間支援限度時間：900 時間

- 宮崎北高校は、1日2名の支援員配置で1名が3限～5限を担当しました。HR（ホームルーム）・体育・保健・美術・英語は、当初から支援不要でしたが、日本史についても10月から支援不要となりました。3月の支援時間等が少ないのは、新型コロナウイルスの感染拡大を受け休業になったためです。
- 佐土原高校は、対象者の残存聴力（補聴器）を利用した授業が可能で、6月から全て不要となりました。それは、前年度まで聴覚障がい生徒を3年間受け入れていた実績もあり、先生方の対応スキルが高いことも支援不要となった要因と考えられます。

4. 関係者会議

- ・宮崎北高校 3回（4月10日 5月16日 7月31日）
また、2学期末に文書により振り返りを行いました。
- ・佐土原高校 1回（5月9日）
※ 学校と当協会担当者、支援員（要約筆記者）のそれぞれの立場から意見や要望を出し合い、対象者が教育課程を円滑に履修できるように努めました。
なお、両校とも初回の会議には、対象者と保護者も参加し全員の意思疎通を図ることができました。

人権啓発活動協働推進事業 「手話言語の国際デー記念イベント」実績報告

1. 目的

全ての県民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、互いに人格と個性を尊重し合う環境づくりに寄与するために「手話言語の国際デーイベント」を実施しました。

2. 期日

9月23日（月・秋分の日）

3. 会場

南九州大学（宮崎キャンパス）

4. 実施内容

時間	内容
10:00 10:15	～ 式典
10:20 10:40	～ 行政説明「手話等の普及及び利用促進に関する条例」
10:45 12:00	～ パネルディスカッション 「県民とともに手話等の普及及び利用促進の実現を図るために」 パネラー： 長谷川芳弘氏（全日本ろうあ連盟副理事長） 安藤豊喜氏（前全日本ろうあ連盟理事長・前県協会理事長） 松浦邦晴（県協会理事長）
12:30 15:00	～ こども企画 ・体験コーナー：手話体験、筆談体験、盲ろう体験 ・相談コーナー（きこえに関する相談：教育関係者、親の会） ※10:00～15:00 難聴疑似体験、情報保障機器体験、 「電話お願い手帳」の展示、ご案内

5. 参加人数

400人

宮崎市 情報保障・コミュニケーション支援事業報告

1 宮崎市手話通訳者・要約筆記者派遣事業

【手話通訳派遣事業】

1. 目的

聴覚障がい者等が日常生活及び社会生活において手話通訳を必要とする際に、手話通訳者を派遣しコミュニケーションの仲介を行うことにより、聴覚障がい者の社会参加促進及び福祉の向上を目指すことを目的として手話通訳者派遣を実施しました。

2. 登録手話通訳者研修会

期 日 令和元年8月25日（日）10時00分～15時00分

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 講義「聴覚障がい者の特性を踏まえた対人援助のあり方～こんなときどうしますか～」

講師 九州産業大学 人間科学部 臨床心理学科 教授 倉知延章 先生

期 日 令和2年2月2日（日）10時00分～12時30分

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 テーマ「第35回国民文化祭・みやざき2020

第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会を理解しよう」

3. 運営委員会

期 日 令和元年6月14日（金）18時30分～

会 場 聴覚障害者情報センター 試写室

内 容 平成30年度活動報告・収支決算について

平成31年度活動計画・収支予算について

4. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣実績	65	70	63	67	56	73	59	65	56	45	48	68	735	61.3
通訳者	22	22	20	18	17	16	17	13	16	14	15	17	207	17.3
対象者数	31	32	30	37	31	33	34	26	29	28	30	34	375	31.3
派遣時間	89.5	115.5	88.0	99.5	76.5	104.5	96.0	110.0	83.0	79.5	83.0	102.0	1127.0	93.9

① 年間の通訳派遣件数は735件で、毎月の平均は61.3件。昨年度の派遣件数は698件で、少し増えた。利用者については、年間375名で月平均は31.3名となっており、昨年度（27.7名）と少し増えました。

② 派遣時間は月平均93.9時間となっており、月平均17.3名の通訳者を派遣しました。

5. 派遣内容

集会・講演	3	冠婚・葬祭	7	学校・教育	35	その他	49
会議	13	司法・警察	8	育児・保育	43		
住宅・住居	9	医療・保健	530	家族関係	24		
スポーツ・レクリエーション	6	職業・労働	21	手続	36	合計	735

※派遣の内容は、「医療・保健」が7割強を占め、次いで「学校・教育」、「手続き」、「職業・労働」となっており、この傾向は毎年同じです。

6. まとめ

手話通訳者は新規の派遣登録はなく3月31日現在の登録手話通訳者は55名となっています。派遣については、利用者の希望に添い通訳者を選任していますが、通訳者に負担のかからないようコーディネートを行いました。利用者の高齢化も進み自宅での生活が多くなっています。できるだけ派遣を利用しながら社会参加が出来るよう配慮したいと思います。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、不応不急の外出の自粛と通訳者等へのマスク着用について利用者へ理解を求めました。年々、相談も多くなっており、それに伴い専門的な相談もあります。通訳者の養成とも連携しながら技術面の向上を目指す研修の内容を検討します。

【要約筆記者派遣事業】

1. 目的

聴覚障がい者等が日常生活及び社会生活において要約筆記を必要とする際に、要約筆記者を派遣しコミュニケーションの仲介を行うことにより、聴覚障がい者の社会参加促進及び福祉の向上を目指すことを目的として要約筆記者派遣を実施しました。

2. 要約筆記者研修会

期 日 令和年8月25日（日）10時00分～15時00分

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 講義「聴覚障がい者の特性を踏まえた対人援助のあり方～こんなときどうしますか～」

講師 九州産業大学 人間科学部 臨床心理学科 教授 倉知延章 先生

期 日 令和2年2月2日（日）10時00分～12時30分

会 場 県立聴覚障害者センター 交流ホール

内 容 テーマ「第35回国民文化祭・みやざき2020

第20回全国障害者芸術・文化祭みやざき大会を理解しよう」

3. 運営委員会

期 日 令和元年6月14日（金）18時30分～

会 場 聴覚障害者情報センター 試写室

内 容 平成30年度活動報告・収支決算について

平成31年度活動計画・収支予算について

4. 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣実績	14	4	8	8	12	6	3	8	2	10	6	2	83	6.9
通訳者	8	2	5	4	6	5	2	6	2	3	5	2	50	4.2
対象者数	6	3	5	4	6	4	2	5	2	4	4	2	47	3.9
派遣時間	26.5	5.0	12.5	11.0	21.0	11.0	5.5	24.0	3.5	27.5	11.5	3.5	62.5	13.5

①年間の要約筆記者派遣件数は 83 件で、毎月の平均は 6.9 件。昨年度の派遣件数は 38 件で倍増しました。利用者は、年間 47 名で月平均は 3.9 名となっており、昨年度（1.8 名）から倍増しました。

②派遣時間は月平均 13.5 時間となっており、月平均 4.2 名の要約筆記者を派遣しました。

5. 派遣内容

集会・講演	9	冠婚・葬祭	0	学校・教育	0	その他	1
会議	25	司法・警察	0	育児・保育	0		
住宅・住居	0	医療・保健	42	家族関係	0		
スポーツ・レクリエーション	0	職業・労働	3	手続	3	合計	83

※派遣の内容は、「医療」が 5 割「会議」が 3 割を占めており、例年と逆転しました。

6. まとめ

要約筆記者統一試験合格者等 3 名（パソコン 3 名）が新たに派遣登録を行い、3 月 31 日現在の登録要約筆記者は 31 名となっています。要約筆記の派遣件数はまだ少なく、今後も利用者が増えるよう広報活動等を考慮しながら利用拡大に努めていきます。

2. 手話奉仕員等養成事業実績報告

1. 目的

宮崎市手話奉仕員等養成事業実施要綱に基づき下記の内容で手話奉仕員及び手話通訳者、手話通訳士の養成講座を実施し、聴覚障がい者等の福祉の増進に資することを目的として実施しました。

2. 運営委員会設置

「宮崎市手話奉仕員等養成事業に関する運営委員会」の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止としました。

3. 手話奉仕員養成講座

(1) 実施会場 別表1参照

- ① 宮崎市総合福祉保健センター
- ② 宮崎市清武総合福祉センター
- ③ 県立聴覚障害者センター

(2) 使用教材

『新手話教室入門』と『手話教室基礎』の内容が1冊に盛り込まれた厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応の「手話奉仕員養成テキスト 手話を学ぼう 手話で話そう」をテキストとして使用し実施しました。

(3) 養成時間 70時間

実技編 入門課程(27時間) 基礎課程(33時間)

講義編 10時間

(4) 養成講師研修会

講座実施に向けた指導内容、指導方法についての学習会を実施し、講座の充実につなげました。

期 日 令和元年6月17日(日)

会 場 県立聴覚障害者センター

参加者数 74名

5. 手話通訳者養成講座

(1) 実施会場 別表1参照

- ① 宮崎市総合福祉保健センター
- ② 県立聴覚障害者センター

(2) 使用教材

手話通訳Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで下記の教材を使用して講座を実施しました。

⑤ 手話通訳Ⅰ 「手話通訳Ⅰ ホップ ステップ ジャンプ」

⑥ 手話通訳Ⅱ 「手話通訳Ⅱ ホップ ステップ ジャンプ」

⑦ 手話通訳Ⅲ 「手話通訳Ⅲ ホップ ステップ ジャンプ」

⑧ 講義編

(3) 養成時間 120時間

実技編 手話通訳Ⅰ(48時間) 手話通訳Ⅱ(45時間) 手話通訳Ⅲ(15時間)

講義編 12時間

(4) 養成講師研修会

講座実施に向けた指導内容、指導方法についての学習会を実施し、講座の充実につなげました。

- 【1】手話通訳者Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ養成講師研修会
 期 日 令和元年7月20日(土)～21日(日)
 会 場 県立聴覚障害者センター
 参加者数 43名
- 【2】ろう講師養成講師研修会
 期 日 令和元年11月24日(日)
 会 場 県立聴覚障害者センター
 参加者数 24名
- (5) 現任手話通訳者研修会
 期 日 令和元年10月20日(日)
 会 場 県立聴覚障害者センター
 参加者数 23名
- (6) 手話通訳者全国統一試験対策学習会
 期 日 令和元年11月4日(日)
 会 場 県立聴覚障害者センター
 参加者数 31名
 会 場 延岡市社会福祉センター
 参加者数 10名
- (7) 手話通訳者全国統一試験
 期 日 令和元年12月7日(土)
 会 場 県立聴覚障害者センター
 受験者数 41名
 合格者数 7名(令和2年3月2日結果発表)
 外村正司(都城市)、相良登記子(都城市)、大久保富美(延岡市)、
 矢野洋子(川南町)、金丸哲也(宮崎市)、安在真帆(宮崎市)、
 横山雅恵(宮崎市)

6. 手話通訳士養成講座

手話通訳技能認定試験(手話通訳士)合格を目指す手話通訳者を対象に養成研修会を実施しました。6月の研修は公開講座とし、受験の予定のない方でも受講可能にした筆記試験対策と実技試験対策を行い、8月は実技試験対策中心の研修を実施しました。

月日	内 容	科目	講師	参加者
6/22 (土)	10:00 - 12:00	聴覚障害者の基礎知識及び障害者福祉の基礎知識・手話通訳のあり方	稲倉里衣子氏 中村美代子氏 満平ほたる氏	18名
	13:00～ 16:00	実技試験学習・読み取り通訳①		
6/23 (日)	13:00～ 17:00	国語	日章学園中学校 小檜山聡子氏	17名
8/24 (土)	13:00～ 17:00	実技試験学習・読み取り通訳②	嶋田 智子氏 満平 美幸氏	7名
8/2 5 (日)	10:00～ 16:00	実技試験学習・聞き取り通訳	センター職員 前山 玲子氏 盛田 弘氏	6名

◎第31回手話通訳技能認定試験（手話通訳士）結果（本県関係）

期 日 令和元年10月5日（土）～10月6日（日）
 試験会場 熊本市他
 受験者数 9名
 合格者数 1名 阿萬清香（西都市）

宮崎市手話奉仕員及び手話通訳者養成講座実績】 別表

1

会 場	実施日	時間・内容	修了者数			
			奉仕員	通訳Ⅰ	通訳Ⅱ	通訳Ⅲ
宮崎市総合福祉センター	毎週火曜日	19:00-21:00	35			
	5月～3月	奉仕員				
	毎週月曜日	19:00-21:00		20	21	14
	4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
県立聴覚障害者センター	毎週木曜日	13:30-15:30	15			
	5月～3月	奉仕員				
	毎週月・金曜日	13:30-15:30		22	14	11
	4月～3月	通訳Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ				
清武総合福祉センター	毎週木曜日	19:00-21:00	17			
	5月～3月	奉仕員				
合 計			67	42	35	25

3 要約筆記者養成事業実績報告

(1) 目的

聴覚障害者、とりわけ中途失聴・難聴者の生活及び関連する福祉制度や権利擁護、対人援助等についての理解と認識を深めるとともに、難聴者等の多様なニーズに対応できる要約筆記を行うに必要な知識及び技術の習得することを目的に実施しました。

(2) 要約筆記者養成カリキュラム時間数（前期・後期）

84時間以上：必修科目74時間＋選択必修科目10時間以上

必修科目74時間（講義44時間＋実技30時間）

選択必修科目28時間（講義10時間＋実技18時間）

(3) 要約筆記者養成講座（後期）

要約筆記者養成カリキュラムに沿い講座を実施しました。

宮崎会場（手書きコース及びPCコースの両クラスを実施）

平成31年4月～令和元年11月 手書きコース 1名 パソコンコース 4名

(4) 要約筆記者のための研修

要約筆記者養成カリキュラムをもとに、下記の研修及び講習を実施しました。

1) 要約筆記者講師研修会

月日	内 容	講 師	参加者数
5月25日 (土)	《共通》手書きコース・パソコンコース 要約筆記者養成テキスト下の指導方法	(特非) 全要研 松井美智子氏	15名
5月26日 (日)	PCコース：第11・12講 要約筆記の実技指導法について		6名
	手書きコース：第11・12講 要約筆記の実技指導法について		10名

2) 要約筆記者ステップアップ研修会

要約筆記者に必要な技術、知識を習得するためにステップアップ研修会を開催し、本県、要約筆記者の充実を図ることを目的に下記の学習会を実施しました。

月 日	内 容	講 師	参加者数
8月31日 (土)	《共通》手書きコース・PCコース 要約筆記者の倫理・あり方	(特非) 全要研 山岡千恵子氏	17名
9月 1日 (日)	手書きコース：チームワークの考え方		11名
	PCコース：チームワークの考え方		12名
11月9日 (土)	《共通》手書きコース・PCコース 対人支援 事例検討をとおして	(特非) 全要研 松井美智子氏	18名
11月10日 (日)	手書きコース：ノートテイクの対応と実践		11名
		PCコース：ノートテイクの対応と実践	10名

- 3) 全国統一要約筆記者認定試験対策学習会
表記試験対策として下記の学習会を実施しました。
- 【第1回】
期 日 令和元年12月15日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター
参加者 PC 5名 手書き 2名
- 【第2回】
期 日 令和2年1月19日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター
参加者 手書き 3名 PC 6名
- 4) 全国統一要約筆記者認定試験を下記のとおり実施しました。
期 日 令和2年2月16日(日)
会 場 県立聴覚障害者センター
受験者 手書き：3名 パソコン：5名
合格者 手書き：0名 パソコン：3名
- 5) 要約筆記者指導者養成研修会
東京会場で開催された「平成31年度要約筆記者指導者養成研修 基礎コース」
に県内の要約筆記者1名が参加し、要約筆記者養成の目的や指導方法を学びまし
た。

4 手話ビデオ等作製事業実績報告

1. 事業目的

市広報紙の情報を手話ビデオ化することによって、情報が容易に得られるようにし、聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者の読解力及び情報不足を補います。

	題 目	本数	分	取扱	複製数	備考
1	市広報「みやざき」手話ビデオ 4月号 (No.272)	1	38	納品	44	V5+D39
2	市広報「みやざき」手話ビデオ 5月号 (No.273)	1	47	納品	44	V5+D39
3	市広報「みやざき」手話ビデオ 6月号 (No.274)	1	42	納品	44	V5+D39
4	市広報「みやざき」手話ビデオ 7月号 (No.275)	1	44	納品	44	V5+D39
5	市広報「みやざき」手話ビデオ 8月号 (No.276)	1	42	納品	44	V5+D39
6	市広報「みやざき」手話ビデオ 9月号 (No.277)	1	44	納品	44	V5+D39
7	市広報「みやざき」手話ビデオ 10月号 (No.278)	1	36	納品	45	V5+D40
8	市広報「みやざき」手話ビデオ 11月号 (No.279)	1	38	納品	45	V5+D40
9	市広報「みやざき」手話ビデオ 12月号 (No.280)	1	44	納品	45	V5+D40
10	市広報「みやざき」手話ビデオ 1月号 (No.281)	1	44	納品	45	V5+D40
11	市広報「みやざき」手話ビデオ 2月号 (No.282)	1	47	納品	45	V5+D40
12	市広報「みやざき」手話ビデオ 3月号 (No.283)	1	50	納品	45	V5+D40
	合 計	12	516		534	

■貸出状況

取扱先（配布数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宮崎市関係(10)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市社会福祉協議会(1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市聴覚障害者協会(4)	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	47
県立聴覚障害者センター(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	47

※宮崎市関係取扱先（市障がい福祉課、佐土原総合支所、田野総合支所、高岡総合支所、清武総合支所、市立図書館、宮崎市立佐土原図書館、田野児童センター、穆園館、清武文化会館）

■送付状況及び協力者数

計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
送付状況	27	27	27	27	27	27	28	28	28	28	28	28	330
協力者数 (人)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60

○ その他の取り組み

出演者と手話表現に関する打合せを行いました。

○ 今後の課題

新しい手話表現は、認識しづらいとの意見があるので、地元の聴覚障がい者が表現しそうな手話を採用しながら分かりやすさを重視した作製に努めました。

市町村派遣

通訳者派遣事業（自主事業）実績報告書

1. 目的

障害者支援法に該当しない「制度外」の手話通訳者、要約筆記者、手話関係等の講師派遣を行うことを目的とする。

2. 手話講師専門学校等へ歩派遣実績一覧表

	機関名	学科	使用教材
1	宮崎ブライダル&医療専門学校	1年生：毎週木曜	手話奉仕員テキスト
		2年生：毎週金曜	
2	宮崎県警察学校	長期・短期合同	聴さんと学ぼう
3	宮崎医療管理専門学校	介護福祉科 1年	おぼえようみんなの手話
		医療情報管理科	
		社会福祉科	手話奉仕員テキスト
4	阿波岐原通所センター	第2・4火曜日	
5	宮崎情報ビジネス医療専門学校	1年生通年	おぼえようみんなの手話
		2年生前期	医療の手話①
6	宮崎学園短期大学 専攻科福祉専攻	後期10月より	
7	宮崎歯科技術専門学校	金曜日	おぼえようみんなの手話
8	宮崎看護専門学校	A組：金曜日	おぼえようみんなの手話
		B組：火曜日	

3. 企業・団体等からの依頼による手話通訳者・要約筆記者の派遣実績

(1) 月別実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
手話	1	8	4	4	5	3	11	6	7	9	6	1	65
活動人数	2	6	7	8	9	2	19	13	10	16	9	1	102
派遣時間	4.0	11.0	9.5	7.0	20.5	4.0	23.0	21.5	13.0	32.0	6.5	4.5	156.5
要約筆記	7	4	3	3	2	0	7	1	0	2	1	0	30
活動人数	22	6	6	5	4	0	17	4	0	6	4	0	74
派遣時間	37.5	5.0	12.0	15.0	6.5	0	21.5	6.5	0	7.5	4.5	0	116.0
合計	8	12	7	7	7	3	18	7	7	11	7	0	95
キャンセル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	5

(2) 派遣内容

項目	累計	項目	累計	項目	累計	項目	累計
集会・講演	65	司法・警察	0	冠婚・葬祭	5	その他	5
会議	5	医療・保健	9	育児・保育	0		
住宅・住居	0	職業・労働	4	家族関係	0		
入ホ - ツ リレーション	1	学校・教育	0	手続	1	合計	95

全国手話検定試験事業（自主事業）

1. 第14回全国手話検定試験

(1) 手話検定試験学習会（受験者対象）

- 宮崎会場 9月29日（日）県立聴覚障害者センター 45名
- 延岡会場 8月25日（日）延岡市社会福祉センター 30名
- 都城会場 9月29日（日）都城市総合福祉センター 35名

(2) 手話検定試験（面接委員・要員）説明会

- 宮崎会場 県立聴覚障害者センター 14名 欠席者（9名は個別対応）
- 延岡会場 9月29日（日）延岡市社会福祉センター 10名
- 都城会場 9月29日（日）都城市総合福祉センター 9名

(3) 全国手話検定試験実施日程

- | | | | | |
|--------|-----------|------|------|------|
| 5級・4級 | 10月12日（土） | 宮崎会場 | 延岡会場 | 都城会場 |
| 3級・2級 | 10月13日（日） | 宮崎会場 | 延岡会場 | 都城会場 |
| 準1級・1級 | 10月19日（土） | 宮崎会場 | | |

(4) 試験結果

■ 宮崎会場

級	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	計
受験者数	26	22	36	16	9	11	120
合格者数	23	20	35	13	7	5	103
合格率	88.5%	90.9%	97.2%	81.3%	77.8%	45.5%	85.8%

■ 延岡会場

級	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	計
受験者数	11	16	15	9			51
合格者数	11	16	10	6			43
合格率	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%			84.3%

■ 都城会場

級	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	計
受験者数	26	21	18	5			70
合格者数	26	19	16	5			66
合格率	100.0%	90.5%	88.9%	100.0%			94.3%

■ 全会場

級	5級	4級	3級	2級	準1級	1級	計
受験者数	63	59	69	30	9	11	241
合格者数	60	55	61	24	7	5	212
合格率	95.2%	93.2%	88.4%	80.0%	77.8%	45.5%	88.0%

2. 2019年度全国手話検定試験「面接委員研修」（宮崎会場）

- (1) 期日 2020年2月23日（日）
- (2) 会場 県立聴覚障害者センター（交流ホール）
- (3) 参加者数 24名（共通講義 24名、5級 2名、4級 3名、3級 7名、2級 8名、準1級 8名、1級 8名）

図書販売等事業

1) 目的

全日本ろうあ連盟及び全国手話研修センターが発行している図書等を、聴覚障がい者、手話通訳者、手話学習者に手話や聴覚障がい者をより理解していただくために、手話イラストやDVD等で構成された図書の販売促進及び情報提供を行いました。

2) 図書等販売結果

2019年度の図書等の仕入・販売金額については下記のとおりです。

4月から6月にかけて手話講習会テキストの仕入・販売が多くなったのは例年通りですが、7月から9月にも10月の消費税10%の値上げ前に多めに発注しました。

新型コロナウイルス感染拡大を受けてセンターを閉館した影響のため、3月の書籍仕入・販売が前年度の160冊あまりから大幅に落ち込みました。

3) 課題

消費税10%の値上げ前に、手話講習会テキストの仕入を多くしたこともあって、収益が約16万円となりました。前年度は約60万円でしたので、大きく減少しています。その分、今年度の仕入額は少なくすみますが、新型コロナウイルスの影響がどこまで続くのかまだ見通しがはっきりしませんので、今年度も図書販売の収入が大きく減少する恐れがあります。この状況が続くと県協会運営にも大きな影響が出てきます。図書販売だけではなく、新たな収益事業について検討を進めていく必要がありますが、新型コロナウイルスが収束しない限りは厳しい状況が続くものと考えられます。

月別仕入・販売金額

	仕入		販売	
	数量	金額(円)	数量	金額(円)
4月	630	1,254,414	508	1,249,835
5月	268	349,159	311	522,964
6月	83	167,370	98	172,509
7月	160	279,397	110	298,938
8月	101	202,795	46	125,658
9月	108	202,060	73	97,547
10月	50	78,025	59	168,713
11月	50	115,445	13	34,389
12月	34	25,840	45	61,861
1月	50	65,576	27	35,205
2月	0	0	66	116,380
3月	34	25,840	21	46,209
合計	1,568	2,765,921	1,377	2,930,208

平成31年度市町村手話通訳者・要約筆記派遣事業実績

県内26市町村のうち17市町村(3市11町3村)と「手話通訳者等及び要約筆記者派遣事業」の委託契約

市町村名		年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
宮崎市	31年度	手話	65	70	63	67	56	73	59	65	56	45	48	68	735	
			30年度	61	62	59	68	60	57	57	48	51	67	48	60	698
	31年度	要約	14	4	8	8	12	6	3	8	2	10	6	2	83	
			30年度	6	1	4	1	1	5	2	4	5	2	5	2	38
日南市	31年度	手話	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
			30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
串間市	31年度	手話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西諸県郡	高原町	手話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東諸県郡	国富町	要約	3	3	5	5	5	3	1	1	2	0	2	1	31	
			30年度	1	2	1	0	0	1	1	1	1	3	3	6	20
	綾町	手話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
児湯郡	高鍋町	手話	1	0	2	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	9
			30年度	0	9	2	1	2	1	1	1	1	0	0	0	18
		要約	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
			30年度	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	0	6
	新富町	手話	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	5
			30年度	1	0	2	0	0	0	0	1	1	3	0	3	11
	西米良村	手話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	木城町	手話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	都農町	手話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			30年度	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東臼杵郡	美郷町	手話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	椎葉村	手話	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
			30年度	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	諸塚村	手話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西臼杵郡	高千穂町	手話	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
			30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日之影町	手話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五ヶ瀬町	手話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			30年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	31年度	手話	69	72	66	70	58	75	59	67	57	47	48	68	756	
			30年度	62	72	67	69	62	58	58	50	53	70	48	65	734
	31年度	要約	17	7	13	13	17	9	4	9	4	10	10	3	116	
			30年度	7	3	5	3	3	6	3	5	6	5	10	8	64
合計	31年度	手話・要約	86	79	79	83	75	84	63	76	61	57	58	71	872	
			30年度	69	75	72	72	65	64	61	55	59	75	58	73	798

当協会と契約外の市町村手話通訳者・要約筆記派遣事業実績

市町村名	年度		計	市町村名	年度		計	市町村名	年度		計		
延岡市	31年度	手話	223	日向市	31年度	手話	224	小林市	31年度	手話	68		
			30年度				235				30年度	171	30年度
	31年度	要約	9		31年度	要約	3		えびの市	31年度	手話	87	
			30年度				12					30年度	3
都城市	31年度	手話	307	西都市	31年度	手話	10	北諸県郡		三股町	31年度	手話	2
			30年度				274						30年度
	31年度	要約	2		31年度	要約	0	東臼杵郡	門川町	31年度	手話	6	
			30年度				2					30年度	0
児湯郡	川南町	手話	0	31年度	手話	0	31年度		手話	0			
			30年度			1				30年度	1		

2019年度苦情解決体制の整備に伴う「第三者委員」の報告

2019年度における社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会及び県立聴覚障害者センター運営等に関する苦情の受付は一件もありませんでした。

その理由は、利用施設であり、入所施設のような人権、自己負担等の利害に関わるケースがないためと考えられます。また、センターでは年に1回満足度調査を実施し、利用者からいただいたご意見に対して出来る範囲で対応しているところです。今後も適切な福祉サービスの充実に努めていきます。

2020年3月31日

社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会
理事長 松浦 邦晴